

これまで登別市教育委員会では、本市小・中学生が各種のメディアに触れる時間が長いこと、SNSでのやり取りによるトラブル発生等の課題を受け、「ケータイ・スマホ3つのルール」を作成し、情報教育の観点から、正しいメディアとの接し方について、保護者や地域の皆様にご協力いただきながら、児童生徒自らが考え行動する指導を進めてきました。

ただ現状においても、SNSを介した個人への攻撃や誹謗中傷等のトラブル、オンラインゲームのチャットや課金等による同様のトラブル、こうした課題の低年齢化は継続課題となっております。こうした状況を踏まえ、改めて小学校段階からSNS等の使い方について指導し、正しい行動につなげることが大切と考え、学校や家庭での指導に資する資料として、市内小学生・保護者向けに「オンラインゲーム・SNSとのつきあい方を考えよう」を作成しました。

各小学校では学年に応じた指導を行ってまいりますが、保護者や地域の皆様には趣旨をご理解いただき、家庭でのルール作り等を確実に進め、児童生徒を取り巻く望ましい環境づくりへのお力添えを引き続きお願いいたします。

# 「オンラインゲーム」「SNS」とのつきあい方を考えよう



オンラインゲームの「チャット」やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などは、友達などとかんたんにメッセージをやりとりできます。でも、使い方をまちがえると、自分や友達を傷つけたり、関係のない人とトラブルになったりすることがあります。これまでの自分の使い方をふり返し、おうちの人と正しいつきあい方をたしかめましょう。

◎オンラインゲームのチャットやSNSでメッセージをやりとりしたことがありますか？ ある・ない  
ある人は、だれと・どんなことを話したか書きましょう。

◎オンラインゲーム（通信して友達とつながって遊べるゲーム）やSNSで知っているものを書きましょう。

## メッセージを送ろうとするときは…

☆まず、遊ぶ時間・使う時間を決めよう（家のルールを決める）

☆送る前に必ず読み返そう！

（インターネットの中では、気持ちが大きくなりがちです）

- ・相手に直接言えますか？（自分が同じことを言われても平気？）
- ・その情報は正しいですか？
- ・いっしょになって、友達のことを悪く言っていませんか？
- ・自分や友達の名前や住所、写真などを送ろうとしていませんか？



## 保護者の方へ（お子さんと確認を！）

- ①小学生は、使用時間や使い方のコントロールが難しいです。買い与えるなら、最後までお子さんに寄り添い、正しい使い方が身に付くよう繰り返しご指導ください。最近では、悪口や課金などでトラブルに発展する例が増えています。
  - ②まず、家庭での使用ルールを確認します。そして、「お子さんがつながっている相手」「やりとりの具体」を把握し、「自分がされて嫌なことはしない」「何かあればすぐ相談する」ことを繰り返し教えてください。
  - ③お子さんや友達を悪く言う投稿を把握したら、学校や警察に相談しましょう。  
※スクリーンショットや印刷して記録しておきます
  - ④相手の発言にむきになって言い返さない、嫌な思いをしたら家庭のルール（時間を決めた使い方）を理由に抜ける方法なども教えてください。
- ☆「なぜ、やってはいけないのか」を考えさせることも大切です。

## 【SNSやチャット】のことを知ろう！

- 自分の名前を出さずに書きこめる
- 一度送ったら、ほとんど消せない
- つながりのある人なら、だれでも見られる
- そのため、内容が広がりやすい
- 悪口などの書きこみがふえ、手がつけられなくなることもある



ほら 放っておくと…

ゲームやSNS、学校でのいじめに

まちがった情報が広がる

名前などの情報がさらされる

ゲームやSNSのことが頭からはなれなくなる